

進路

高等部を卒業する生徒の約85%は、青山学院大学へ進学しています。

その他専攻分野などの関係で他の大学を受験する生徒が約15%おります。

内部進学は、高等部3年間の学業成績、3年次に行われる学力テストの結果その他を総合的に判断して推薦が行われ、大学側の決定を経て、入学が認められています。



青山学院大学への進学						
			2022年	2021年	2020年	
青山学院大学	文学部	英米文学科	11	17	19	
		フランス文学科	2	2	1	
		日本文学科	2	4	5	
		史学科	3	4	3	
		比較芸術学科	17	18	16	
	教育人間科学部	教育学科	17	22	15	
		心理学科	13	12	13	
	経済学部	経済学科	40	25	25	
		現代経済デザイン学科	4	4	6	
	法学部	法学科	25	24	20	
		ヒューマンライツ学科	11	-	-	
	経営学部	経営学科	53	53	53	
		マーケティング学科	32	32	32	
	国際政治経済学部	国際政治学科	23	23	23	
		国際経済学科	23	23	23	
		国際コミュニケーション学科	14	14	14	
	総合文化政策学部	総合文化政策学科	47	47	47	
	理工学部	物理・数理学科※	物理科学科	0	0	0
			数理サイエンス学科	0	0	
		化学・生命科学科	0	3	2	
		電気電子工学科	1	2	1	
		機械創造工学科	1	1	4	
		経営システム工学科	1	0	3	
		情報テクノロジー学科	8	6	3	
		社会情報学部	社会情報学科	10	4	11
	地球社会共生学部	地球社会共生学科	2	3	3	
	コミュニティ人間科学部	コミュニティ人間科学科	1	1	0	
	計		361	344	342	
	外部大学・その他		53	63	54	
卒業生総数		414	407	396		

※2021年4月に2学科に改編

生徒在籍数				
	ホームルーム数	男子	女子	計
第1学年	10	201	220	421
第2学年	10	191	224	415
第3学年	10	192	217	409
総計	30	584	661	1245

(2022年6月現在)

他大学合格者				
	学校名	2022年	2021年	2020年
国公立大学	岡山大学	1		
	金沢大学		1	
	京都大学	1		
	群馬大学		1	
	国際教養大学			1
	東京外国語大学			1
	東京藝術大学		2	1
	東京工業大学		1	
	東京大学		1	
	一橋大学	1	1	
	弘前大学			1
	山口大学		1	
	横浜国立大学		2	
	和歌山県立医科大学	1		
	その他の国公立大学	0	0	0
私立大学	岩手医科大学	2	1	
	金沢医科大学			1
	北里大学	5	5	1
	慶應義塾大学	15	20	7
	国際医療福祉大学		2	1
	国際基督教大学	1	1	2
	芝浦工業大学	1	2	
	上智大学	9	7	7
	昭和薬科大学		1	1
	聖マリアンナ医科大学	1	6	4
	多摩美術大学	2	2	2
	中央大学	6	2	3
	東京医科大学	1	4	2
	東京医療保健大学	1	2	
	東京音楽大学			1
	東京歯科大学			1
	東京女子医科大学	1	2	2
	東京薬科大学	1		
	東京理科大学	11	5	7
	同志社大学	1		1
	東邦大学	1	4	1
	獨協医科大学		1	1
	日本歯科大学	1	3	1
	日本獣医生命科学大学			1
外国の大学・留学	日本赤十字看護大学	1	1	
	星薬科大学		1	
	武蔵野美術大学	3	1	1
	明治大学	10	8	4
	立教大学	3	5	3
	立命館大学	1	1	
	早稲田大学	13	13	6
	その他の私立大学	48	87	29
		1	3	1

(2022年4月現在)
(国公立立50音順 過年度卒業生を含む)

高等部で世界に一台となる パイプオルガンに出会ってください

椎名 雄一郎 さん
オルガニスト 東北学院大学文学部教授

Profile
1993年、高等部卒業。東京藝術大学大学院
修了後にウーンとバーゼルで4年間留学する。
2005年より10年かけてバツハ・オルガン全作品
演奏会を完結。演奏の録音は「レコード芸術」
誌の特選盤に選ばれている。活水女子大学教
授を務めたのちに2022年4月から現職。



中学までキリスト教とも宗教音楽とも関係のない世界で生きていた私をこの世界に導いたのは、高等部の入学式で聴いたオルガン演奏です。青山学院のオルガン部の卒業生には、さまざまな専門分野からこの世界を支える方々がいます。たとえば建造家の故辻宏氏は、日本のパイプオルガンの草分け的存在です。あるとき、辻さん建造のパイプオルガンの一つの音を「もう少し鳴るように調整してください」とお願いしたところ、「人間の声が一人一人違うように、オルガンのパイプもすべて違うのが当たり前であり、それを揃えるのは、個性をなくすことだ」と教えてくださいました。これはまさに高等部の教育に通じます。パイプオルガンは一台一台、鍵盤の大きさ、幅さえ違います。そのため、演奏会の際などには、それぞれの楽器特性を知り、慣れるために、入念に練習をします。一台一台が異なる個性を持っているため、常に新しい出会いがあります。高等部にも、幼稚園から青山学院に通っている人もいれば、帰国生もいます。私は高等部から入学しましたが、中等部出身者とも入学直後からすぐに仲良くなれました。それも、一人一人が互いの個性を尊重し、認め合える環境だったからだと思います。東京藝術大学への進学を考えたときには両親から大反対されましたが、高等部の先生は私の志望を受け入れ、親身になって両親を説得してくれました。また、入学式の礼拝で聴いた「狭い門から入りなさい」という聖書箇所(マタイ7章13節)は、とても心に残っています。当時の部長先生が、「高等部生活の中で狭き門を見つけなさい」とお話をされたのですが、自分が信じたことであれば、だれも行かない道であっても突き進みなさいと言われたような気がしました。

受験に特化しない高等部の授業は、今の活動にも役立っています。英文の速読では、全体を見て内容を理解する力がつきました。1年間かけて学んだドイツ史では、歴史だけではなく、専門的な研究の仕方や情報の得方も学びました。先生が一方向的に教えるのではなく、生徒が自ら探究して発表する授業は、今でいう双方向的な授業です。画一的なものの見方ではなく、自分で考え、発想する力は高等部で身につきました。

高等部にパイプオルガンを導入するために、現在多くの卒業生と準備を進めています。新しいオルガンは、高等部の生徒の学びのために、そして文化財としても100年以上も存在するでしょう。高等部のPS講堂で、世界で一台の楽器に出会えることを楽しみにしています。

MESSAGE

卒業生メッセージ

自由に考え、行動する環境が 起業マインドにつながりました

藤井 悠夏 さん
aMi代表取締役

Profile
シリア生まれ東京育ち。2002年に高等部を卒業し、青山学院大学国際政治経済学部に入學。2006年に(株)リクルートに入社。2010年に退職し、ベトナム、シンガポールでブライダルメディア事業を経て2014年に帰国。現在は撮影プラットフォームを運営するaMiの代表を務める。

帰国生入試で青山学院に入學した私にとって、英語教育のレベルの高さや自由な雰囲気は、海外での生活と比べても違和感を感じないものでした。皆が自分の好きなことを追及していて、私はバンド活動やアルバイトなどを経験しながら伸び伸びと過ごしていました。ガールズバンドのドラムス担当として、高等部のミュージックフェスティバルや渋谷のライブハウスeggmanで演奏などもしました。

大学受験を目的とした高校生活ではなかったからこそ、大学で何をするか時間をかけて考えることができました。中学のときに貧富の差が激しいドバイで生活し、自分の意思だけでは決められない人生があると知り、そのような問題を解決するためには、世の中の仕組みを変えることが必要と考えて国際政治経済学部に進学しました。大学入学前にあるオリエンテーションでは、社会問題を解決するためには教育、政治、ビジネスなど、さまざまな角度からのアプローチがあると知る機会となりました。そこで大学1年次からインターンを始めたり、フリーペーパーを創刊し、大学の図書館で実業家・藤田晋さんの本に出会い感銘を受け、インタビューさせていただいたこともあります。大学時代のベンチャー企業でのインターン経験や、海外でのボランティア活動などは、後の私の「起業」につながっています。

高等部生に向けて社会人としてお話をする機会をいただいた際に、高等部の生徒の中には起業に興味を持つ人が多くいるとうかがいました。その理由は、体育祭を実施するかどうかさえ生徒自身が考え、運営方法も生徒が考えることのできる、主体性を大切にする学校生活にあるかもしれません。一人一人が自立して考え、行動することで、お互いの価値観を尊重し合うことができるのだと思います。もしも、決められたことをやりこなすだけの高校生活を送っていたとしたら、良い大学に合格して良い会社就職する、それが人生のゴールと考えて、今とはまったく違う人生だったかもしれません。「こうしなければならない」ではなく、自由に考え行動することのできる高等部の生活は、やりたいことに向かって存分に楽しむことができる時間でした。